

桜花会主催 東燃ゼネラル石油株式会社・東燃化学合同会社見学会(2015/11/18)

応化コース3年生の学生さんを対象に、岡本昌樹准教授の企画・実行で、2015年11月18日(水)羽田空港から多摩川河口を挟んだ浮島町に広がる東燃ゼネラル石油株式会社・東燃化学合同会社のプラント見学会が開催されました。

当日13:15川崎駅東口バスターミナル16番停留所に25名の学部3年生が集合し、引率の岡本准教授・桜花会の田村会長も同行、総勢27名で13:19発浮島バスターミナル行きに乗車し、13:50頃浮島町五番地バス停を降車して東燃に向かいました。

エッソ・モービル・ゼネラルのブランドで販売するEMGマーケティング合同会社の人事総務統括部・人材開発部の須賀省吾課長が出迎えて下さり、一人一人入場許可証をつけての入場となりました。

入口右の事務棟4階の講堂で、東燃化学合同会社技術部生産計画グループ勤務で東工大小野研究室卒の鈴木隆裕氏から自己紹介があり、その後東燃ゼネラルを三浦様が紹介し、東燃化学を青木様が紹介して下さいました。特に重質油脱硫分解装置は東燃だけが持つ国内唯一の装置で、付加価値の高い軽質基材油の製造を行っているとの紹介がありました。軽質基材油から高オクタン価のガソリン基材油に変換する流動接触分解装置、更にガソリン基材油から硫黄分を除去する最新技術の分解ナフサ脱硫装置、エチレン、プロピレンなどを製造するスチームクラッキング装置などの紹介がありました。その後バスに乗車して、海沿いにあるタンカーからの原油受け入れ配管から、原油貯留タンク群、常圧蒸留塔を始め上記の設備を見学しました。

見学後、講堂に戻り東燃ゼネラル石油株式会社製油技術部製油調整グループ勤務で東工大佐治研究室卒の岩佐愛子氏も参加され、学生さんの質問に丁寧に答えて下さいました。

なお東燃化学は、製造したガス、エチレン、プロピレン、ブテン・ブタジエン留分等を浮島付近のコンビナートにあるNUC、日本合成エタノール、JX日鉱日石エネルギー、昭和電工、新日本理化、日本ゼオン、旭化成ケミカルズ、日本ブチルなどの化学会社に原料として供給しています。

帰りは雨の中、浮島町五番地バス停16:50乗車、17:30川崎に無事到着し流れ解散となりました。

以下東燃パンフよりの写真と見学時の写真等を示します。



東燃ゼネラルグループ

東燃パンフより見学した東燃のプラント群



東燃のパンフよりプラント群の夜景



川崎駅東口 16 番バス停前で 引率する岡本先生と応化コース 3 年生の 학생さん達



バスに乗車



浮島町 5 番地バス停で下車



東燃ゼネラル石油株式会社・東燃化学合同会社前で参加者の集合写真